

呼吸器内科で過去に喘息の研究に参加された患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に関する情報

当院（当機関）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 重症（難治性）喘息患者におけるピークフロー値変動が臨床経過に与える影響

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究代表者所属・氏名] 北海道大学病院 呼吸器内科 講師・木村 孔一

研究機関名	診療科（部署名）	研究責任者名	機関の長の氏名
北見工業大学	工学部	中村 文彦	榮坂 俊雄

[研究の目的]

重症喘息患者さんの肺の機能が低下する要因を調べるため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2010年11月25日から2018年10月31日までの間に当院呼吸器内科（内科I）で、「難治性気管支喘息患者の背景因子、臨床的特徴に基づく病型分類と臨床経過に関する観察調査（北海道難治性喘息コホート研究）」にご参加された方

○利用する検体・情報

検体：血液、痰、尿

※上記の研究において、文書による同意を得て保管したものを使用します。皆様に測定して頂いたピークフロー値の推移が、どのように呼吸機能の低下に影響するのかを調べます。保管している血液、痰、尿の検体を用いて、喘息の状態に関与すると考えられている分子を測定します。

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、呼吸機能検査）、ピークフロー値、臨床経過

*上記研究で収集した、2018年10月31日までのカルテ情報を利用します。

○送付方法

2026年5月8日（第1.1版）

この研究は、上記の研究機関で実施します。上記の情報は、ピークフロー値の解析のために北海道大学病院から北見工業大学へ電子的配信で送付します。検体は送付しませんが、検体から得られた解析結果は送付する可能性があります。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用・提供の開始：2026年6月頃)～2030年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院呼吸器内科 担当医師 木村 孔一

電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899

[北見工業大学（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

北海道北見市公園町165

北見工業大学 工学部 担当者 中村 文彦

電話 0157-26-9113